

2026年
9.10
月号

東神戸病院News

編集・発行：東神戸病院 広報/宣伝委員会

Vol.212



祭 第34回 東神戸病院盆踊り大会 祭

ドンドンパンパン♪ ドンパンパン♪

8月1日（土）午後6時30分、雨ノ神公園で「第34回 東神戸病院盆踊り大会」が開催されました。実行委員長の松本郁子医師の挨拶とともに、今年もにぎやかな夏の夜が始まりました。

まだ空に少し明るさが残るなか、会場には次々と人が集まり、提灯の明かりが灯り始めます。いつもの公園が、この日だけはどこか特別な場所に見えました。

会場には、地域の皆さんや職員だけではなく、車椅子や杖を利用されている入院患者さんの姿もありました。付き添うスタッフがそっと車椅子を押し、隣で声をかけながら、一緒に祭りを楽しんでいます。

踊りをじっと見つめる人。曲に合わせて、椅子に座ったまま手を動かす人。久しぶりの外の空気を、ゆっくり味わっているような人。

その様子を見守る周囲の人たちのまなざしも、どこか温かく、楽しそうでした。患者さん、地域の皆さん、そして病院の職員。それぞれの立場を少しだけ忘れ、同じ音を聞き、同じ夏の夜を過ごしている。



祭りを彩る屋台と笑顔

屋台では、毎年恒例、放射線科の焼きそばが今年も大人気。熱い鉄板の上で麺と野菜が音を立て、会場に広がるソースの香りに、つい足が止まります。

リハビリテーション科の「スイカ割り」「ボウリング」「くじびき」は、すっかり子どもたちの定番になりました。地域連携相談室の「お菓子釣り」も大盛況。真剣な表情で狙いを定める子どもたちと、その姿を笑顔で見守る大人たち。うまく釣れた瞬間に上がる歓声も、夏祭りを彩る大切な音の一つです。

夏祭りには、人を童心に戻す力があるようです。



祭りの余韻を感じながら

秋田民謡「ドンパン節」が夏の夜に響きます。

ドンドンパンパン♪ ドンパンパン♪

祭りが終わり、公園がいつもの静けさに戻った今も、笑い声とドンパン節が頭の中で心地よく鳴り続けています。

この曲を耳にするたび、焼きそばの香りや浴衣の踊り子さん、スタッフの温かなまなざしとともに、今年の夏を思い出すのでしょうか。

ドンドンパンパン♪ ドンパンパン♪

広報/宣伝委員会 島田尚哉

「その人らしい生活」を支える -PCCMカンファレンス-

患者さん中心の医療を実践する「PCCMカンファレンス」

当院では、患者さん一人ひとりの生活や価値観を大切にしたい医療を実現するため、毎月「PCCMカンファレンス」を開催しています。PCCMとは Patient Centered Clinical Method の略で、日本語では「患者中心の医療」と訳されます。これは、病気だけを見るのではなく、患者さんの生活背景や思いを理解し、医療者と患者さんが協働して治療方針を決めていくという考え方です。家庭医療学・総合診療の根幹をなす考え方で、近年、医療の高度化とともに、患者さんの生活の質（QOL）を重視した支援が求められるようになり、PCCMはその中心的な理念として注目されています。

多職種が連携して支える退院支援

当院のPCCMカンファレンスは、地域包括ケア病棟の入院患者さんを対象に、月1回の定例として実施しています。特徴は、医師、看護師、リハビリスタッフ、薬剤師、管理栄養士、ソーシャルワーカーなど、さまざまな職種が参加する「多職種参加型」であることです。患者さんの病状だけでなく、退院後の生活環境、家族の支援状況、必要な社会資源などを総合的に検討し、より良い支援につなげることを目的としています。

患者さんの生活を見据えたカンファレンスの進め方

カンファレンスでは、まず担当スタッフが患者さんの現在の状態を共有します。病気の経過や治療内容だけでなく、患者さんの「生活歴」「価値観」「家族関係や支援者の存在」「ご本人がどのような生活を望んでいるか」といった多方面からの情報を丁寧に確認します。

患者さんの思いを大切にするPCCMの理念

PCCMの理念において特に大切なのは、患者さん自身の思いを尊重することです。カンファレンスでは「どこで生活したいか」「どのようなことに不安を感じているか」といった患者さんの声を中心に議論が進みます。医療者が一方的に方針を決めるのではなく、患者さんの希望を踏まえたうえで、実現可能な支援を一緒に考えていくことがPCCMの本質です。



地域でその人らしく暮らし続けるために

当院では、こうした取り組みを通じて、患者さんが安心して退院し、地域でその人らしい生活を続けられるよう支援しています。PCCMカンファレンスは、医療と生活をつなぐ大切な場であり、地域の皆さまに寄り添う医療を実現するための重要な取り組みです。これからも多職種が協力し、患者さんの思いに耳を傾けながら、より良い医療と支援を提供してまいります。

東神戸病院 副院長 大槻 智子

病院見学会

地域最大級の病院体験イベント！

10/31（土）14時～17時、ハロウィンの日に病院見学会を開催します！地域の皆さまに病院をもっと身近に感じていただき、医療について楽しく知っていただけるイベントです。内視鏡体験、病院食の試食、検査機器の見学、車いす・装具体験、AED・一次救命処置（BLS）体験など、さまざまな企画を予定しています。さらに、ハロウィンならではの子ども向け企画も検討中です。子どもから大人まで、ご家族みんなで楽しめるイベントを目指して準備を進めています。ぜひご期待ください！

2026年度 東神戸病院オープン講座 予定一覧

- 9/19 瀧本（恭）医師 「甘くみないで脂肪肝 MASHの話し」
- 10/17 HPH推進チーム 「禁煙-たばこの害ってどんなもの？-」
- 11/21 糖尿病グループ・ふれあい会 「糖尿病と腎臓」
- 12/19 摂食嚥下リハチーム 「高齢化と嚥下」
- 1/16 栄養科 「高齢者の食事」

毎月第3土曜日14時から参加無料、どなたでも参加できます
お問い合わせ：東神戸病院 医局事務課（担当：中）

☎ 078-841-5731

東神戸病院 × ありまみち商店街 まちを支える人たち

外来看護師とカーブストレーナーが語る「運動と医療、それぞれの現場から健康を支える」

地域には、さまざまな形で人々の健康を支える仕事があります。今回、東神戸病院 外来看護師の川村師長と、カーブス神戸住吉の北原店長が、それぞれの現場で大切にしていることを語り合いました。

川村師長：なぜカーブスで働こうと思ったのですか？

北原店長：専門学校でスポーツ分野を学んでいた時、担任の先生に紹介されたのがきっかけです。身体に関わる仕事を考えて

いた中でカーブスを知り、職場の雰囲気や、研修を通して運動と健康を学ぶことに魅力を感じました。得た知識が自分自身の健康にも役立つと思い、働き始めて14年ほどになります。

カーブスは女性専用で、30分間のサーキットトレーニングを行います。運動の場であると同時に、外へ出て人と話すきっかけにもなっています。

北原店長：患者さんと接するとき、大切にしていることは何ですか？

川村師長：患者さんに「この病院に来てよかった」「また来たい」と思ってもらえる病院でありたいと思っています。一人ひとりのお話を聞き、目を見て向き合うことを心がけています。

以前、カーブスで救急対応をした際、スタッフの皆さんがメンバーさんを下の名前と呼んでいることが印象に残りました。「誰かのお母さん」や「誰かの奥さん」ではなく、一人の女性として接する姿勢は、病院でも学ぶべきことだと感じました。

川村師長：メンバーさんの変化を感じるのは、どのような時ですか？

北原店長：「筋力がついた」「姿勢が良くなった」「体重が変化した」と、成果を笑顔で話してくださる時です。痩せたい方、筋力をつけたい方、いつまでも自分の足で歩きたい方など、100人いれば100通りの目標があります。



北原店長



川村師長

成果を家族や友人に話し、それを聞いた方が運動を始めることもあります。人と会い、話し、外へ出るきっかけになることも大きな役割です。

北原店長：地域の健康づくりに、運動はどのような役割があると思いますか？

川村師長：外来には、一人暮らしで話す相手や外出する機会が少なく、家にこもりがちな方も来られます。

そのような方にとって、運動や交流ができる地域の場は大切です。運動を続けることは、体重や血圧、血糖値などの改善につながり、病気の予防や治療を支えることにもなります。

カーブスで体を動かし、病院で健康状態を確認する。医療と地域が役割を生かし、住み慣れたまちで元気に暮らし続けることを一緒に支えられたらと思います。

働く場所は違っても、目指すのは地域の皆さんが元気に暮らせること。今回の対談から、運動と医療をつなぐ新しい地域連携の可能性が見えてきました。

カーブス 神戸住吉
TEL.078-842-8585

女性だけの30分健康体操



この続きは、東神戸病院公式WEBサイト・SNSで公開中です。

外来診療体制表 (2026年8月6日現在)

受付開始時間
午前 8:30～
夜間 16:30～

診療時間
8:45～12:00
17:00～19:00

診療科目	時間	月	火	水	木	金	土
内科	午前	*遠山 *藤末 *浅田【1・3】 (一般) 鱈 新患外来	*藤末 *瀧本(和) *遠山/馬田(隔週)	*高島 *瀧本(和) *馬田	*瀧本(和) *大槻 *藤末	*武村【2・4】 *永野 佐伯 谷口【1・3・5】 新患外来	*遠山【4】 *馬田(一般)【1】 松本(成) 新患外来
	午後	*大槻(糖尿病) *吉川(緩和ケア)	*馬田(糖尿病)	*遠山(循環器)	*遠山(循環器) *高島(リハ) *瀧本(和)(被ばく)		
	夜間	高島 藤末 水間				*遠山(一般) *大槻(一般) 瀧本(和)	
外科	午前	菅本		菅本		菅本	菅本【1・3】
消化器外科 肛門科	午前		高村		高村		高村【2・4】
整形外科	午前	*藤井(一般あり)	合田	*藤井(一般あり)	合田	*藤井(一般あり)	
	夜間					合田	
小児科	午前		*森岡			*森岡	*森岡【月1回】
	午後	*森岡(喘息特診)	*森岡			*森岡	
	夜間	*森岡(喘息特診)					
神経科 心療内科	午前	*千古	*担当者	*千古	*千古	*千古	
	午後			*千古 (ものわすれ外来)	*千古		
	夜間					*千古	

- ・【 】内の数字は第〇週目を表しています。
- ・名前の前に*印がついているのは予約診療です。但し（一般）（一般あり）と書かれている場合は一般診療も行っています。
- ・急病の場合はこの時間の限りではありません。お電話にてご相談ください。

特定医療法人 神戸健康共和会

東神戸病院

〒658-0051 神戸市東灘区住吉本町1丁目24番13号

電話：078-841-5731

FAX：078-822-6877

健診予約：078-841-5673

病院HP



東神戸病院 SNS日々配信中



Facebook



Instagram



当院に駐車場はありません。
近隣駐車場をご利用下さい。

